

# いの 祈りの中にいる人は エゼキエルのように なります

ていこくのせいこう  
定刻祈りに成功したらチェックしよう

エゼキエル 1:1~3 カルデア人の地のケバル川のほとりで、ブジの子、祭司エゼキエルにはっきりと主のことばがあり、主の御手が彼の上にあった。(3)

## 1. 神様はエゼキエルのようなレムナントを準備されました(名前:全能者があなたのかだ)

- (1) エゼキエルは「全能者があなたのかだ」という意味です
- (2) エゼキエルは、B. C595年~574年にバビロンで彼の働きを行いました
- (3) エホヤキンが捕囚となって連れて行かれてから五年目に、預言者として召されました(エゼキエル 1:1~3)
- (4) カルデアの地、ケバル川のほとりで、捕囚となった民とともに生活しました(エゼキエル 3:15~17)
- (5) 十二以上の幻と啓示を受けた預言者でした

## 2. 祈りの中にいる人は、神様のものを見るようになります

- (1) 天が開けたことを見ました(1:1)
- (2) 主の特別なみことばが臨みました(1:3)
- (3) 主の力がエゼキエルの上に臨みました(1:3)
- (4) 神様の御使いと啓示を見ました(1:4~28)

## 3. 神様のものを見た人は、福音を知るようになります

- (1) 人間の墮落を見ました
- (2) 人間の滅亡も見ました
- (3) 神様の救い(キリスト)を知りました
- (4) 神様の恵み(十字架)を知りました
- (5) 神様の福音(召し)を知りました

		
( )	( )	( )
		合計点
( )	( )	( )



1. 人間は、もっとも尊く創造された存在であるため、いのちと血の責任が問われます

- (1) 暗やみ、混沌、むなしさの中に、光を照らされました(創 1:2、3~13)
- (2) 神様から離れた人間に、女の子孫を送るという契約を与えられました(創 3:1~10、15)
- (3) ネフィリム時代に、ノアに箱舟を造らせました(創 6:1~10、14)
- (4) バベル塔事件以降、アブラハムを召され、祝福とされました(創 11:1~8、12:1~3)
- (5) エジプトの奴隷になったイスラエルに、犠牲のいけにえの契約を与えられました(出 3:1~8、18)
- (6) イスラエルが捕虜になったとき、インマヌエルの契約を与えられました(イザヤ 6:1~13、7:14)
- (7) イスラエルがローマの属国になったとき、契約の主人公であるキリストが来られました(マタイ 9:36~38、16:16)

2. 聞いたことのない者の血の責任は、教会にあります(エゼキエル 3:18~21)

- (1) 悪者の血の責任(3:18~19) (2) 正しい人の血の責任(3:20~21)

3. 血の責任を知る者は、神様の計画を成し遂げる祝福を味わいます

- (1) Remnant 7 人はこの祝福の中にいました
- (2) 初代教会の信徒とパウロがこの祝福を味わいました
- (3) 250 年の間、Remnant たちがこの祝福を味わいました
- (4) 教会史の人物がこの祝福を味わいました



 ( )	 ( )	 ( )
 ( )	 ( )	合計点 ( )

ち あたい  
**血の値を**  
**知っている人は**  
 でんどう りかい  
**伝道を理解する**  
**ことができます**

ていこくのせいこう  
 定刻祈りに成功したらチェックしよう

エゼキエル 3:18~21 わたしが悪者に、『あなたは必ず死ぬ』と言うとき、もしあなたが彼に警告を与えず、悪者に悪の道から離れて生きのびるように語って、警告しないなら、その悪者は自分の不義のために死ぬ。そして、わたしは彼の血の責任をあなたに問う。(18)

れいてき<sup>し</sup>  
**靈的な死を見た**  
**人は、神様の**  
 じこくひょう  
**時刻表を見ることが**  
**できます**

ていこくのせいこう  
 定刻祈りに成功したらチェックしよう

エゼキエル 37:1~10 私<sup>わたし</sup>が命<sup>いのち</sup>じられたとおりに<sup>よげん</sup>預言<sup>よげん</sup>すると、息<sup>いき</sup>が彼<sup>かれ</sup>らの中<sup>なか</sup>に入った。そして彼<sup>かれ</sup>らは生き返<sup>かえ</sup>り、自分の足<sup>あし</sup>で立ち上<sup>あ</sup>がった。非常<sup>ひじょう</sup>に多くの<sup>おほい</sup>集<sup>あ</sup>まりであった。(10)



1. 死<sup>し</sup>んだ者は、自分<sup>じぶん</sup>が死<sup>し</sup>んだ者<sup>もの</sup>であることを分<sup>わ</sup>かっています

- (1) ひからびた骨<sup>ほね</sup>で満<sup>み</sup>ちていました (創 37:1~3)
- (2) 族長<sup>ぞくちやう</sup>時代<sup>じだい</sup>には、死<sup>し</sup>んだ者<sup>もの</sup>が多<sup>おほい</sup>くいました
  - ① ノア時代<sup>じだい</sup>には、肉<sup>にく</sup>体<sup>たい</sup>だけ<sup>だけ</sup>で生<sup>な</sup>きる人<sup>ひと</sup>が多<sup>おほい</sup>くいました (創 6:1~8)
  - ② ヨセフの兄<sup>にい</sup>たちは、肉<sup>にく</sup>体<sup>たい</sup>的<sup>てき</sup>な事<sup>こと</sup>だけ<sup>だけ</sup>に関<sup>かん</sup>心<sup>しん</sup>が多<sup>おほい</sup>くありました (創 37:1~11)
  - ③ エジプトでイスラエルは、奴<sup>ど</sup>隷<sup>れい</sup>として苦<sup>くるしみ</sup>ました (出 3:1~8)
- (3) 王<sup>やう</sup>、預<sup>よげん</sup>言<sup>げん</sup>者<sup>者</sup>、祭<sup>さい</sup>司<sup>し</sup>長<sup>ちやう</sup>時代<sup>じだい</sup>に、死<sup>し</sup>んだ者<sup>もの</sup>が多<sup>おほい</sup>くいました。彼<sup>かれ</sup>らにはメシヤ<sup>ひつよう</sup>が必要<sup>ひつよう</sup>でした
- (4) 初<sup>しよ</sup>代<sup>だい</sup>教<sup>きやう</sup>会<sup>かい</sup>にも、肉<sup>にく</sup>体<sup>たい</sup>的<sup>てき</sup>なイスラエルの回<sup>かい</sup>復<sup>ふく</sup>だけ<sup>だけ</sup>に関<sup>かん</sup>心<sup>しん</sup>のある人<sup>ひと</sup>々<sup>々</sup>がいました (使 1:6~7)



2. エゼキエルは、死<sup>し</sup>んだ者<sup>もの</sup>たちを見<sup>み</sup>ました

- (1) 神<sup>かみ</sup>様が彼<sup>かれ</sup>に來<sup>き</sup>られ、特<sup>とく</sup>別<sup>べつ</sup>な恵<sup>めぐ</sup>みを与<sup>あた</sup>えられました (エゼキエル 37:1~2)
- (2) 骨<sup>ほね</sup>に必要<sup>ひつよう</sup>な事<sup>こと</sup>は二<sup>ふた</sup>つでした
  - ① みことばを聞<sup>き</sup>かなければなりませぬ (エゼキエル 37:4)
  - ② 息<sup>いき</sup>が入<sup>い</sup>ると、生<sup>な</sup>かされます (エゼキエル 37:5~10)
- (3) 神<sup>かみ</sup>様の<sup>しつもん</sup>質<sup>う</sup>問<sup>もん</sup>を受けなければなりませぬ (エゼキエル 37:3)  
 エゼキエルに神<sup>かみ</sup>様<sup>さん</sup>は、「これら<sup>これら</sup>の骨<sup>ほね</sup>は生<sup>な</sup>き返<sup>かえ</sup>ることができようか。」と質<sup>しつもん</sup>問<sup>もん</sup>されました

3. 今<sup>いま</sup>も、エゼキエルが見<sup>み</sup>た谷<sup>や</sup>間<sup>ま</sup>を見<sup>み</sup>た人<sup>ひと</sup>は、神<sup>かみ</sup>の榮<sup>えい</sup>光<sup>こう</sup>を見<sup>み</sup>ることができま

- (1) アブラハムは、メシヤ<sup>ち</sup>が來<sup>き</sup>られる地<sup>ち</sup>を見<sup>み</sup>ました (創 12:1~3)
- (2) モーセは、血<sup>ち</sup>の契<sup>けい</sup>約<sup>やく</sup>の主<sup>しゆ</sup>人<sup>じん</sup>公<sup>こう</sup>が來<sup>き</sup>られる地<sup>ち</sup>を見<sup>み</sup>ました (出 3:8~20)
- (3) ダビデは、万<sup>ばん</sup>軍<sup>ぐん</sup>の主<sup>しゆ</sup>の御<sup>み</sup>名<sup>な</sup>によつて、ゴリヤテに勝<sup>かち</sup>ちました (I サムエル 17:1~47)
- (4) エリヤは、ホレブの山<sup>は</sup>で、神<sup>かみ</sup>様の<sup>しつもん</sup>新<sup>あたら</sup>しい始<sup>は</sup>まりを見<sup>み</sup>ました (I 列 19:1~20)
- (5) パウロはテモテに、キリスト・イエスにあつて強<sup>たか</sup>くなりなさいと言<sup>い</sup>いました (II テモテ 2:1~7)



1. 生きている者は、生かすべき者が分かります

- (1) 創造の力によって生かすことができます (創 1:1~13)
- (2) 生死、災いと祝福の力によって生かすことができます (創 6:1~20、11:1~8、12:1~3、I サムエル 17:1~47)
- (3) みことばの力によって生かすことができます (エゼキエル 47:1~23)

2. 生きている者は、神様の方法を知っています (エゼキエル 47:1~23)

- (1) 神殿から水が流れ出ていました (47:1~2)
- (2) 水を測る時ごとに、足首、ひざ、腰に達して、人が渡ることのできない川となりました (47:3~5)
- (3) 川に流れた水によって、すべてが生かされました (47:6~12)
- (4) 海に流れた水によって、すべてが生かされました (47:17~20)
- (5) 散らされたすべてのイスラエルに流れました (47:21~23)

3. 生きている者は、死んだ者を見ることができて、彼らを生かすことができます

- (1) イスラエルが部族ごとに、この地を割り当てなさいとおっしゃいました (エゼキエル 47:21~22).
- (2) イスラエルが住むすべての世界と地を、相続地として与えられると約束されました (エゼキエル 47:23)
- (3) イスラエルとともに、これらすべてを回復しなさいと命令されました (エゼキエル 47:22)

		
( )	( )	( )
		合計点
( )	( )	( )



生きている者は  
生きている  
みことばを  
見ることが  
できます

ていこいの  
定刻祈りに成功したらチェックしよう  
エゼキエル 47:1~5 彼がさらに一千キュビトを測ると、  
わたわたることのできない川となった。水かさは増し、泳げる  
ほどの水となり、渡ることのできない川となった。(5)